

2001 年 8 月 1 日
株式会社 NEC 情報システムズ
第二ビジネスソリューション事業部 第二 IT 部

NISMAIL/NT (Windows NT 版)

Windows 2000 SP2 での動作について

平素は、弊社ソフトウェア「NISMAIL」をご利用頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では Microsoft 社からの Windows 2000 SP2 (以下、SP2) のリリースに伴い、「NISMAIL/NT Ver4.0 (Windows NT 版)」の動作評価を下記1項「動作確認環境」において下記2項「動作確認機能」について動作の確認をしました。

評価の結果、Windows 2000 環境で NISMAIL 製品に起因する重大な問題は発見されておりません。動作上、下記3項「互換性留意事項」が確認されていますので、関係するお客様はご注意下さい。

また、NISMAIL の全ての機能、全ての稼働可能機種において動作確認を行ったわけではありません。本ドキュメントはそれらの動作を保証するものではありません。

弊社としては、今後 Windows 2000 適用に関する新たな問題点が発見された場合に、随時対応を行っていく方針であります。

1. 動作確認環境

① Windows 2000 Server

コンピュータ	NEC VALUESTAR NX VS20C
オペレーティングシステム	Microsoft Windows 2000 Server SP2
弊社ソフトウェア	NISMAIL/NT Ver4.0 Rel2.8

② Windows 2000 Professional

コンピュータ	NEC VALUESTAR NX VS20C
オペレーティングシステム	Microsoft Windows 2000 Professional SP2
弊社ソフトウェア	NISMAIL/NT Ver4.0 Rel2.8

2. 動作確認機能

- (1) インストール(setup.exe)の実行
- (2) 各種定義機能
 - i. 基本環境定義
 - ii. メールボックス/ファイル・アプリケーション定義

- (3) 運用状況検索および制御コマンド発行 (クライアント・コントロールパネル)
 - i. 転送状況表示
 - ii. ジョブ状況表示
 - iii. ファイル状況表示
- (4) バッチ型アプリケーションの動作
- (5) 起動型アプリケーションの動作
- (6) ファイル転送機能
 - TCF : 対 ACOS-4 TCP/IP 転送機能
 - SCC : サーバ間転送機能
 - CCC : クライアント対向転送機能、転送トリガ機能

3. 互換性留意事項

- ・ インストール時の警告メッセージについて

NISMAIL/NT を Windows 2000 に自動セットアップでインストールする場合に警告メッセージが出力されます。これはインストーラの OS バージョンチェック機能が Windows 2000 に対応していないために発生します。そのままインストールを続行しても問題はありません。

本現象は NISMAIL/NT Ver4.0 Rel2.7 以降にて対応しています。

- ・ ノード名を別名 (エイリアス) として設定すると、対 ACOS-4 TCP/IP 転送機能にて ACOS-4 に相手拒否が返却される場合がある

NISMAIL/NT のノード定義で設定するノード名に別名 (エイリアス) を使用すると、NISMAIL が正常に動作しない場合があります。本現象は SP2 を適用しても発生します。

具体的には下記 2 点の現象が発生します。

- (1) ACOS-4 から Windows 2000 への転送
 - Windows 2000 側
 - ・ ACOS-4 からの接続要求通知はあるが、後続の処理へ続かない。
 - ・ クライアント・コントロールパネルの転送状況表示には表示されない。
 - ACOS-4 側
 - ・ 相手拒否でエラーになる。
- (2) Windows 2000 から ACOS-4 への転送
 - Windows 2000 側
 - ・ ACOS-4 からの接続要求通知はあるが、後続の処理へ続かない。
 - ・ クライアント・コントロールパネルの転送状況表示で「登録済」で止まる。
 - ACOS-4 側
 - ・ 相手拒否でエラーになる。

本現象について、Microsoft 社からの情報によれば、Windows 2000 と Windows NT 4.0 では hosts ファイルにおける別名の書式に互換がないとのこと。但し、当件に関して、

Microsoft 社は正式な情報公開を行っておりません。従って、弊社としては Microsoft 社の正式な情報公開を待って最終的な対応を決定することといたします。それまでは、本現象は Windows 2000 における制限事項とさせていただきます。

本現象を回避する一つ的手段として、NISMAIL が使用するノード名を hosts ファイルで設定する場合、別名ではなく正規名として設定する方法があります。

(備考)

hosts ファイルで別名の設定を行うには、正規名の右隣に空白文字で区切って記述します。

例 : 10.10.10.10 ACOS4 LANP1

IP アドレス : 10.10.10.10

正規名 : ACOS4

別名 : LANP1

この場合、Windows 2000 では正規名である ACOS4 は有効になり、別名である LANP1 は無効となります。LANP1 をノード名として使用したい場合、回避方法の一つとして、ACOS4 と LANP1 の配置を入れ替えて、LANP1 を正規名として設定してください。

4. その他 (補足事項)

・ マニュアルについて

Microsoft Windows 2000 の記述につきましては、次期バージョンのマニュアルをめどに対応させていただきます。従来のマニュアルでは Microsoft Windows NT の記述を適宜 Microsoft Windows 2000 に置き換えてお読みください。

以上

＊ 記載の社名、商品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。

```
*****
*      本ドキュメントに関する問い合わせは      *
*      株式会社 NEC情報システムズ                *
*      第二ビジネスソリューション事業部 第二 IT 部  *
*      〒108-0074 東京都港区高輪 2-20-36 高輪光和ビル  *
*      TEL 03-3448-2615(直通)   FAX 03-3448-2622(直通)  *
*****
```